

奈良県感染症情報

平成27年 第22週(5月25日～5月31日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

■ 小児科外来情報

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	5.71	(4.53)	➔	↗	➔	↓
2	A群溶連菌咽頭炎	3.24	(3.00)	↗	➔	↗	↘
3	手足口病	2.79	(2.53)	↗	↑	➔	↘
4	咽頭結膜熱	0.59	(0.56)	↗	↑↑	➔	↗
5	突発性発しん	0.32	(0.44)	➔	➔	➔	↓

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**➔横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

感染性胃腸炎は前週に比べ少し増加しましたが、例年並みの患者数で推移しています。

A群溶連菌咽頭炎はやや増加しています。特に郡山保健所、中和保健所管内では高いレベルを維持しています。

咽頭結膜熱は郡山保健所管内で増加しています。患者年齢は4歳以下が中心です。

4月以降増加傾向にあった手足口病の患者報告数が、郡山保健所管内では、警報基準値の5.0を超え、5.1となりました。また他の地域でも例年より高いレベルで推移しています。患者年齢は3歳以下が約7割を占めています。例年夏季に急増しますので今後さらに流行が拡大すると思われます。原因ウイルスは口から侵入しますので、手洗い・うがいを心がけ、おもちゃ・タオルの共用をさけるなど予防に努めて下さい。

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(矢追医院)

感染症自体は多くない。相変わらず手足口病が保育園児を中心に流行している。

一旦減少した感染性胃腸炎は、幼児から小学生でウイルス性の増加がみられる。成人では鶏肉の生食による細菌性胃腸炎が続いている。今週、久しぶりに幼稚園児で流行性耳下腺炎が増えている。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

外来数は多くない。短期の発熱、軽度咽頭発赤の夏風邪が主。

感染性胃腸炎は減少。手足口病が僅かに増加中。ヘルパンギーナは少ない。

他にA群溶連菌感染症が少し。

南部地区(県立五條病院小児科)

アデノウイルス性咽頭炎が増加している。咽頭結膜熱は散発。

手足口病やヘルパンギーナは横ばい。感染性胃腸炎は減少気味。

発熱・頭痛だけの受診者は感染症と軽度熱中症の鑑別が難しくなってきた。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 27 年 第 22 週 5 月 25 日 ~ 31 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	54	11	16	11	11	2	3	
インフルエンザ	1 (0.02)	1 (0.09)						
小児科定点数	34	7	10	7	7	1	2	
RSウイルス感染症	1 (0.03)				1 (0.14)			
咽頭結膜熱	20 (0.59)	3 (0.43)	7 (0.70)	2 (0.29)	6 (0.86)	1 (1.00)	1 (0.50)	
A群溶連菌咽頭炎	110 (3.24)	15 (2.14)	41 (4.10)	22 (3.14)	24 (3.43)	2 (2.00)	6 (3.00)	
感染性胃腸炎	194 (5.71)	20 (2.86)	69 (6.90)	60 (8.57)	36 (5.14)	3 (3.00)	6 (3.00)	
水痘	7 (0.21)	1 (0.14)	4 (0.40)	1 (0.14)	1 (0.14)			
手足口病	95 (2.79)	13 (1.86)	51 (5.10)	18 (2.57)	11 (1.57)		2 (1.00)	
伝染性紅斑	8 (0.24)	4 (0.57)	4 (0.40)					
突発性発しん	11 (0.32)	3 (0.43)	2 (0.20)	4 (0.57)	2 (0.29)			
百日咳								
ヘルパンギーナ	7 (0.21)	1 (0.14)	1 (0.10)	2 (0.29)	1 (0.14)	2 (2.00)		
流行性耳下腺炎	5 (0.15)	4 (0.57)	1 (0.10)					
眼科定点数	9	1	3	2	2	0	1	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	5 (0.56)	1 (1.00)					4 (4.00)	
基幹定点数	6	1	2	1	1	1	0	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎								
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	1 (0.17)		1 (0.50)					

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核9件(奈良市4、郡山1、中和4)
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症1件(奈良市)
4類感染症	
5類感染症	レジオネラ1件(郡山) 侵襲性肺炎球菌感染症2件(中和2) 梅毒1件(中和)

❖ 第22週のトピックス ❖

中東呼吸器症候群(MERS)について:厚生労働省HP

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/mers.html>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。
旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

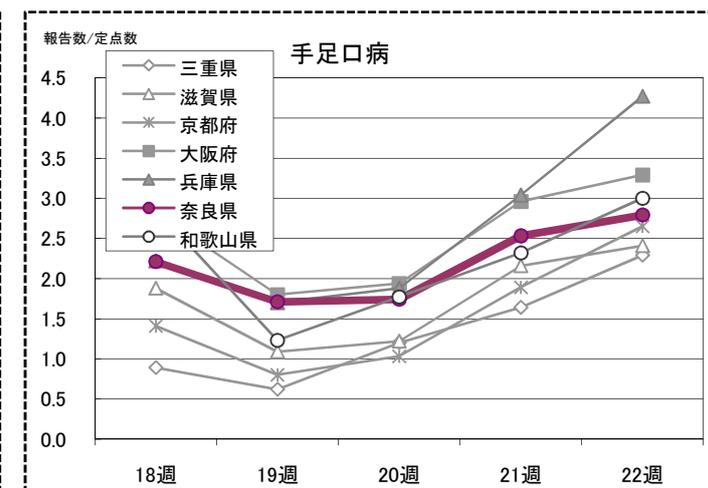
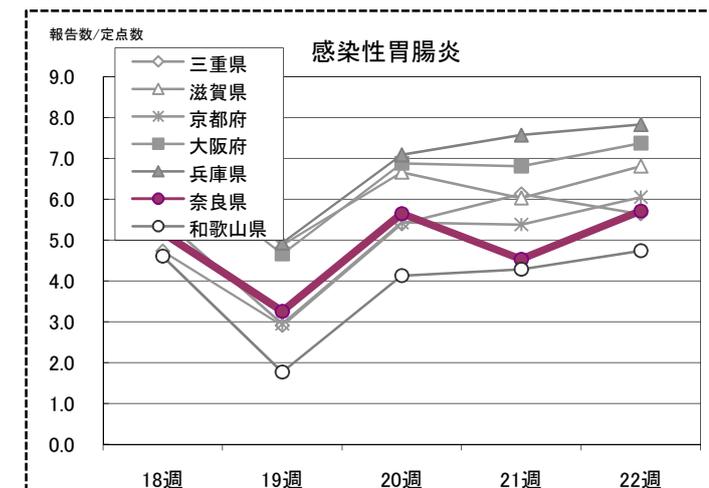
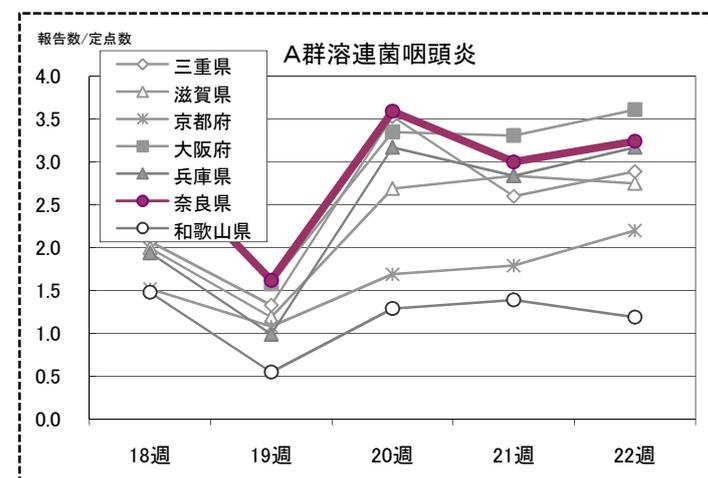
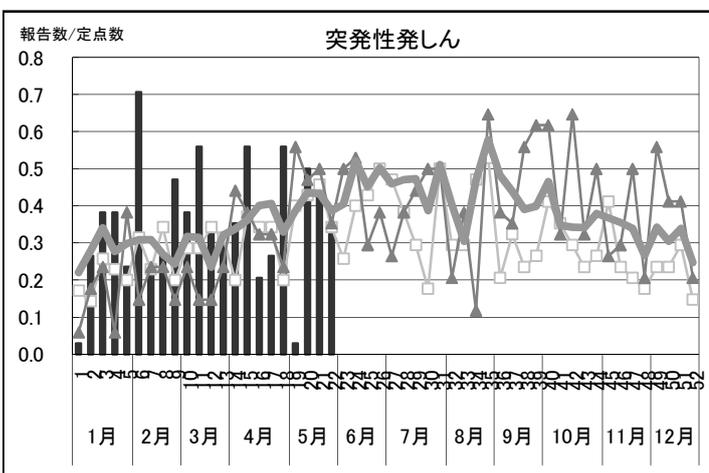
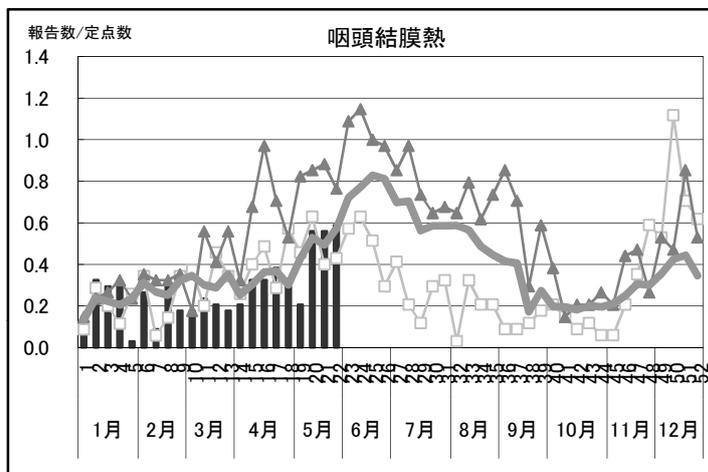
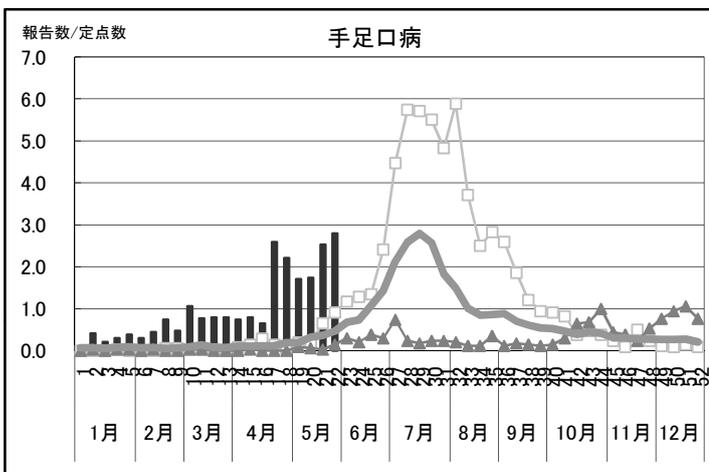
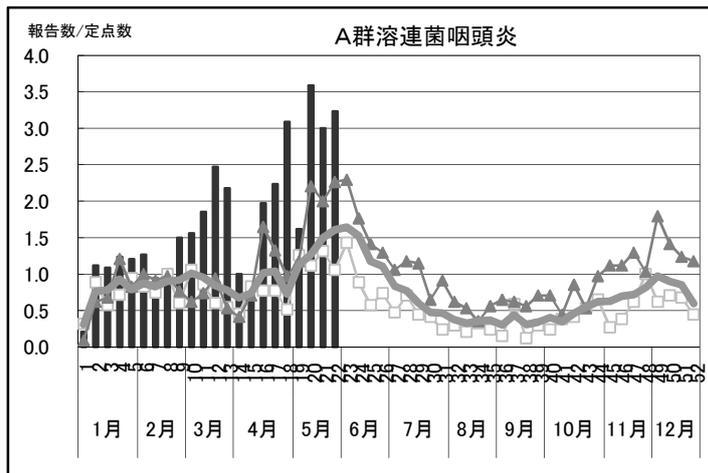
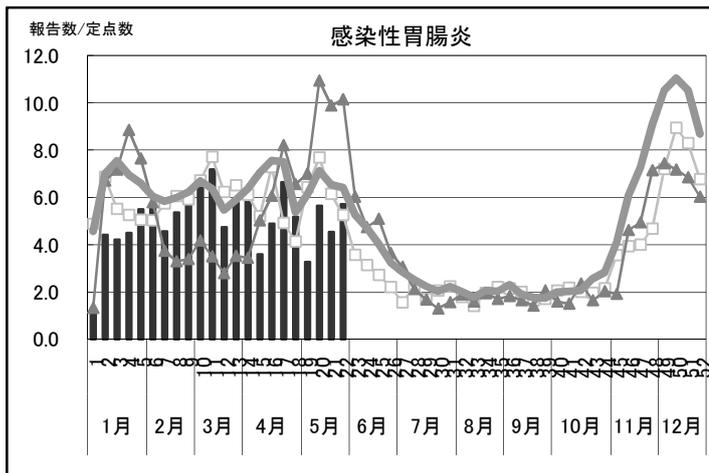
上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計	
インフルエンザ	男												1									1	3975	
	女																						1	3984
RSウイルス感染症	男			1																		1	193	
	女																						1	189
咽頭結膜熱	男		1	3			2	2	1													9	118	
	女			3	1	1	4	1	1													11	88	
A群溶連菌咽頭炎	男			1	2	2	11	7	8	4			6		3							44	688	
	女	1		1	5	6	11	7	9	6	6	6	4	1	3							66	606	
感染性胃腸炎	男		4	8	10	3	15	8	8	7	4	3	8	2	7							87	1956	
	女	1	11	9	4	16	16	4	5	3	2	4	11	1	20							107	1831	
水痘	男				2	1			1													3	144	
	女											1										4	139	
手足口病	男		3	15	10	10	3	5		1	1	1	4									53	437	
	女		4	9	9	9	4	2	1	2		1	1									42	326	
伝染性紅斑	男				1	1			3	1												1	51	
	女											1			1							7	55	
突発性発しん	男		1	4																		5	138	
	女		1	4	1																	6	128	
百日咳	男																						3	
	女																						1	
ヘルパンギーナ	男				1							1										2	8	
	女				2	1	1						1									5	11	
流行性耳下腺炎	男					1	1															2	45	
	女							3														3	58	
急性出血性結膜炎	男																						1	
	女																						1	
流行性角結膜炎	男																					3	35	
	女																		1	2		2	31	
細菌性髄膜炎	男																						3	
	女																						3	
無菌性髄膜炎	男																						1	
	女																						1	
マイコプラズマ肺炎	男																						3	
	女																						7	
クラミジア肺炎	男																							
	女																							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男		1																			1	57	
	女																						1	41

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

■ H27 ▲ H26 □ H25 〰 過去10年平均



デング熱の感染もと

ヒトスジシマカの発生源を叩け!

公園だけでは
ありません!



屋外に放置された
子供のおもちゃ



植木鉢の皿



雨ざらしのじょうろ



排水溝



屋外に放置された
空きビン・缶、ペットボトル



古タイヤに
溜まった水たまり

デング熱の原因となるデングウイルスは、デング熱に感染した人の血を吸った蚊(日本ではヒトスジシマカ)の体内で増え、その蚊がまた他の人の血を吸うことで感染を広げていきます。

感染してもすべての人に症状がでるわけではありませんが、高熱や関節の痛み、目の奥が痛くなるといった症状が1週間から2週間ほど続きます。

ヒトスジシマカは、空き缶に溜まった雨水など、小さな水たまりを好んで卵を産み付けます。住まいの周囲の水たまりを無くすことで、今シーズンや翌年に発生する蚊の数を減らすことができます。

デング熱は人から人へは
感染しません。

[ヒトスジシマカ]

背中に一本の白い線とW字状の模様がある4.5mmほどの蚊で、5月中旬から10月下旬ころまで活動します。雑木林や竹林などで繁殖し、最近は藪・墓地・公園などでも見られるようになりました。特に日中に活発に吸血します。活動範囲は50~100m程度です。

